

令和4年度江の川上流水害タイムライン 第1回検討会 ニュースレター

令和4年6月9日(木) WEB開催(三次河川国道事務所2階会議室)
(15:00~16:30)

令和4年度の出水期に備えて、タイムラインの運用や多機関連携がスムーズに行われるよう、江の川上流水害タイムライン(令和4年度版)の確認することを目的として、令和4年度第1回検討会を開催しました。

■ タイムラインの概要・運用

人事異動などによりタイムラインの新任担当者になった方や、継続担当者の方の出水期前のタイムラインの再確認のために、江の川上流水害タイムライン<令和4年度版>の概要、及び運用について解説した。

■ 令和4年度版の変更点

令和3年度の出水対応の課題としてあがった「タイムライン詳細版の行動項目が多く必要な行動が把握しにくい」という課題に対して、確認漏れを防ぐため、「水系全体に関係する項目」、「複数機関が連携する項目」、「個々の機関で対応する項目」の3つの分類に色分け表示に改善した内容を共有した。

タイムラインレベル4：冠水危険水位超過		対応行動項目		色分け	
トリガー	発生	発生	発生	発生	発生
1	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過
2	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過
3	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過
4	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過
5	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過
6	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過
7	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過
8	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過
9	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過	冠水危険水位超過

■ 令和4年度版に向けた確認

タイムライン訓練動画を用いて、タイムラインレベル毎の状況の映像を見ながら、出水イメージをした上で、状況ごとの主な行動項目をタイムライン詳細版にて確認した。



タイムラインレベル4での主な行動項目

- 避難指示
- 福祉避難所への受け入れ要請・実施
- 浸水時緊急退避施設への受け入れ要請・実施
- ダム特別防災操作の実施
- リエゾン派遣の実施

POINT ※各機関で作成しているタイムラインも確認してください

- 一次第一
1. 開会挨拶
 2. 江の川上流水害タイムラインの概要
 3. 江の川上流水害タイムラインの運用
 4. 江の川上流水害タイムライン(令和4年度版)の変更点
 5. 令和4年度出水期に向けた確認
 6. 令和4年度出水期の運用に向けての留意事項
 7. 質疑応答
 8. 講評
 9. 閉会

◆ 参加機関

三次市
安芸高田市
広島県 土木建築局
広島県 西部建設事務所
広島県 北部建設事務所
三次農業協同組合
社会福祉法人 水明会
社会福祉法人 清風会
広島県警察本部
備北地区消防組合 消防本部
安芸高田市消防本部

出席：18機関(検討会構成機関：37機関)

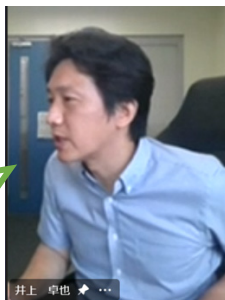
陸上自衛隊 第13旅団
中国電力ネットワーク(株)
西日本高速道路(株)
(株)三次ケーブルビジョン
国土交通省 三次河川国道事務所
国土交通省 土師ダム管理所
気象庁 広島地方気象台
座長
広島大学 准教授
井上先生

■ 運用に向けての留意事項

出水期を迎えるにあたって、タイムラインを運用する上での留意事項を解説した。



江の川は山間部の狭い場所を流れる川で、三次の市街地も川が氾濫してできた土地となっている。古い住宅は河岸段丘で高い土地に建っているが、比較的新しい住宅が氾濫平野に建てられている。氾濫平野は一度洪水が起きると非常に流速が早くなるケースがあり危険性が高い。堤防決壊が発生すると、内水氾濫や越水氾濫とは全く違う現象になることを意識し、住民の避難等に気を付けてほしい。



座長：井上先生

■ まとめ

- 出水対応は他機関との連携を示したタイムラインに加え、**自機関のマニュアルで、機関内で実施する項目や手順等も確認**し対応する必要がある。
- タイムラインは、**自機関のマニュアルとの整合性**が取れている必要があるため、運用しながら確認する。